

2026年(令和8年)

9/25

No. 1353

東京都トラック時報

昭和43年8月16日 第三種郵便物認可 毎月2回(10・25日)発行 1部 90円(送料別)

機関紙

一般社団法人
発行所 東京都トラック協会

〒160-0004 東京都新宿区四谷3-1-8
(東京都トラック総合会館)

☎(03)3359-6251(代表)

☎(03)3359-4134(総務部広報・情報G)

【ホームページアドレス】<https://www.totokyo.or.jp/>

リニューアルで業界の役割アピール

東ト協 トラックフェスタ TOKYO2026

東京都トラック協会(水野功会長)は9月12日、渋谷区の代々木公園で「トラックフェスタTOKYO2026」親子で体験 安全と環境」を開催した。前日から当日の準備段階にかけてはあいにくの空模様となったが、本部・支部、関係団体など業界の思いが一つとなり、天候は回復。会場には家族連れを中心に1万1350人が来場し、トラックと触れあう場となった(8面に特集)。

今年のフェスタは開催日を土曜日に変更し、代々木公園の野外ステージとイベント広場で開催。従来のセレモニーを、



水野会長

多くの都民が来場する昼前の時間帯に変更したほか、フェスタオリジナルキャラクターがセレモニーを盛り上げるなど、内容をリニューアルした。

引き続き、昼前に行われたセレモニーでは、主催者を代表して水野会長があいさつ。冒頭、「令和8年熊



賀運送の内田健治郎氏、晃和の野崎進一氏、藤岩運輸の加藤和彦氏に、それぞれ水野会長が表彰状を手渡した。

最後に、青年部の福田順一部長が、安全確保と環境保全の観点から「東ト協宣言」を読み上げた。

また、トラックフェスタオリジナルキャラクターの「ハシル」と「キズナ」が各場面で登場して会場を盛り上げたほか、フェスタオリジナルソングが流されたなど、リニューアルしたフェスタをアピールした。



澤井局長

セレモニーには、水野会長をはじめ副会長各氏



三浦課長

ランナー優秀賞では、加



長谷部区長

も参加し、トラックメー

この後、交通安全・環境保全の取り組みに貢献した運転者や事業者を表彰。第47回東ト協ドライブ・コンテスト最優秀者賞として、久保寺哲也さん(日本通運東京支店)が表彰状を授与された。続いて、グリーン・エコプロジェクトランナー優秀賞では、加

第69回 事業者大会

1都7県410人が参集

関東トラック協会(会長・水野功)は9月10日、茨城県水戸市の水戸プラザホテルで第69回関東トラック協会事業者大会を開催し、関東1都7県のトラック協会から410人が参加した。

冒頭、水野会長は「トラック運送業界は現在、事故防止や人材確保、労働時間規制への対応など、数多くの課題に直面している。1都7県のトラック協会が緊密に連携し、物流の最前線で働くトラックドライバーが、その重要な責務に見合った適正な対価と、敬意を得られる社会の実現に向けて努力

この後、大会宣言を採択。次回事業者大会の開催担当となる東ト協を代表し、水野会長が令和9年9月8日、千代田区内幸町の帝国ホテル東京で開催する旨を案内し、歓迎のあいさつを述べた(2面に関連)。



ドライバーに適正な対価と敬意を

また、前回事業者大会の結果や要望活動につ

秋の全国交通安全運動

東ト協各支部は、秋の全国交通安全運動(9月21〜30日)期間中の9月24日、街頭指導活動の「統一実施日」として、本部と支部が歩



東ト協街頭活動統一実施日 鳥ノ海運輸安全が活動を視察

令和8・9年度運輸安全委員長の就任した鳥ノ海運輸安全協会が、城東支部(浅野利幸支部長)の活動

紙面あんない

第69回関東トラック協会事業者大会を開催
東ト協8年度第2回総務委員会
東ト協8年度第一回経営教育委員会
フォークリフト運転競技東京大会
写真でみるトラックフェスタ特集

8 6 5 4 2

古紙パルプ含有率80%再生紙を使用 R20

第69回 事業者大会 (1面から続く)



水野会長
あわせて、日々の事故防止対策に加え、近年増加傾

① 水野会長
また、今年3月に政府が設立した、「物流政策推進会議」の下部組織で

② 水野会長
また、今年3月に政府が設立した、「物流政策推進会議」の下部組織で



業界の労働環境改善の取り組みへ



③ 水野会長
また、東ト協文京支部と茨ト協水戸支部が、「災害時等における相互連携



④ 水野会長
また、東ト協文京支部と茨ト協水戸支部が、「災害時等における相互連携

⑤ 水野会長
また、東ト協文京支部と茨ト協水戸支部が、「災害時等における相互連携



ライバーが自分の職種に誇りを持つて働ける業界になること。そうしたイメージを2030年に期待したい」と語った。

関東ト協 テレ東でCM放映 10/5~11

関東トラック協会はこのたび、緑ナンバーのトラック輸送の社会的役割を広く周知するため、テレビ東京においてテレビCMを放映する。放送枠は10月5日～11日まで(全14回)。



トラックの日を中心に

厚労省 同一労働同一賃金ヘルールを変更

パートタイム・有期雇用労働者に 関するルールが変わります！

パートタイム・有期雇用労働者の待遇改善を進めるため、「同一労働同一賃金」に関する施行規則と告示が改正されます。 自社の制度について一度見直しをしましょう。

- 雇入れ時の労働条件 明示事項の追加
- 同一労働同一賃金 ガイドラインの改正
- 待遇差についての 説明方法

大会宣言

我々トラック運送事業者は、国民生活を支える公共的物流サービスの担い手として、その重要な使命を果たすべく、日夜懸命に努力しており、交通安全対策や環境保全にも積極的に取り組んでいるところである。

輸送担当窓口運用変更のお知らせ

10月1日から 東京運輸支局は10月1日から、窓口の混雑緩和および受付の円滑化を図るため、貨物軽自動車運送事業に係る手続きを専用窓口(奥側)で受け付ける。手続き時は、発券機の整理番号を取得する。

安全確保に向け、自らがロードリーダーとしての自覚の下、事故防止への決意を新たにしたいところである。

我々、八都県のトラック運送事業者は、今後とも関東トラック協会の下、力を合わせ、山積する諸課題の解決に英知を集結し、「安全・安心」で環境に優しい輸送に努め、「トラックは生活と経済のライフライン」としての役割を果たして行くことをここに宣言する。

運輸 点描

運賃交渉と収受の動向

物価高の要因の一つに物流費の増加が挙げられ、トラック運賃に関しても「物流の2024年問題」を契機に上昇傾向にある。ただ、問題はどの程度、上がったかだ。日本銀行が発表した企業物価指数と比較すると、トラック運賃はその上昇率を大きく下回り、コスト増に追いついていない状況といえる。近年、政策的に転嫁促進に向けた環境整備が進められ、荷主などの交渉対応も改善しつつあるとされるが、それが必ずしもコスト増を反映した運賃収受に結びついていないのが実情のようだ。

国土交通省の標準的運賃に係る実態調査(3月実施)結果によると、荷主などに対し、標準的運賃やそれを考慮した自社運賃を提示して交渉を行った事業者は、全体の約9割に上る。人件費など運送コストの増加が続く中で、多くの事業者が交渉に動いているようだ。その結果、交渉した事業者のうち、希望額収受が約45%で、一部収受を合わせると約78%(全体の約70%)が値上げを実現したという。この結果をみる限り、収受状況は好転しているようだ。ただ、1運行当たりの値上げ幅をみると、相対的に小幅な状況で、1~5%が全体の8割強を占める。NIX総合研究所の「物流の2024年問題」に関する追加調査(6月時点)によると、トラック運賃の上昇率は10%未満が全体の8割強を占める。その内訳は、上昇率3~5%未満が43・1%と最も多く、次いで5~10%未満が40・6%、10%以上の上昇は8・7%と1割に満たない。さらに、上昇状況の指標として、日銀が発表した企業向けサービス価格指数(2020年/令和2年を基準に100とした指数)をみると、7月(速報)の道路貨物輸送(トラック輸送)は112・9(前年同月比4・5%上昇)となっている。物流関係では、トラックの指数は倉庫や鉄道貨物輸送より高いが、内航貨物輸送の138・8を大きく下回っている。特に、上昇が目立つのは外航貨物輸送で、中東情勢の影響などもあって259・5に急騰している。一方、企業物価指数をみると、7月は全体平均で135・8(前年同月比7・2%上昇)と、基準の令和2年水準より3割以上も上昇している。この指標をみる限り、トラック運賃は全体の動向に比べ、それほど上がっていないことになる。一方、その上昇率を大きく上回るコスト増に直面している。なお、全日本トラック協会の経営分析報告書(令和6年度決算版)によれば、運送費は前年度比8・1%増だ。もともと、業界大手などの業績動向をみると、運賃の改定効果もあり、今期決算見通しはおおむね増収増益のようだ。そのうち、その影響が大きいものと思われる。荷主・元請事業者はこうした実態に目を向け、輸送力の維持・確保の観点に立てば、今後の転嫁対応については、再検討する必要があるのではないか。

全ト協の景況感調査によると、4~6月期の景況感はわずかながら持ち直したが、依然、マイナス(ライター 山上達三)

依然「交渉はすれど」の状況も コスト増に値上げ追いつかず

割以上も上昇している。この指標をみる限り、トラック運賃は全体の動向に比べ、それほど上がっていないことになる。一方、その上昇率を大きく上回るコスト増に直面している。なお、全日本トラック協会の経営分析報告書(令和6年度決算版)によれば、運送費は前年度比8・1%増だ。もともと、業界大手などの業績動向をみると、運賃の改定効果もあり、今期決算見通しはおおむね増収増益のようだ。そのうち、その影響が大きいものと思われる。荷主・元請事業者はこうした実態に目を向け、輸送力の維持・確保の観点に立てば、今後の転嫁対応については、再検討する必要があるのではないか。

国が退職金サポート

勤労者退職金共済機構は、国が一部助成している中小企業退職金共済(中退共)制度への加入を呼びかけている。同制度は、中小企業の事業主が従業員の退職金を計画的に準備できるもので、国が掛金の一部助成(一部対象外あり)を行っている。掛金は全額非課税で、手

中退共制度の活用を

数料もかからない。家族従業員や、パートタイマーも加入できる。魅力ある企業づくりや、従業員の仕事への意欲醸成などにも資する制度であることから、同機構では中小企業事業主の活用を呼びかけている。詳細は、中退共ホームページを参照。

手形廃止 サプライチェーン 踏まえ 全体での支払の適正化を

中小企業庁と公正取引委員会は9月1日、関係事業者団体に対して、事業環境部長・官房審議官の連名で、「約束手形の利用廃止を踏まえたサプライチェーン全体での支払の適正化について」の文書を出し、傘下の会



員事業者は9月1日から、取引適正化法により、60日以内に支払うことが求められること。

2. 9年4月1日から、独占禁止法上の「支払告示」(製造委託等に係る代金の支払に関する特定の事業者・受託事業者間で協議し、電子的決済サービスへの移行などの対応を進めること。

1. 令和8年1月1日施行の取適法(中小受託

カスハラ防止対策推進事業

と国

東京

は、都内中小企業などを対象とした令和8年度「カスターハラスメント(カスハラ)防止対策推進事業企業向け奨励金」の第2回募集を開始する。カスハラ対策の促進と、働きやすい職場環境の整備を目的としたもの。支給額は一律40万円。同事業の募集は今回で終了となる。

対象は、都内で継続的に1年以上事業を営む、常時雇用する従業員が300人以下の中小企業等

でもエントリーでき、先着順ではない。応募多数の場合は抽選を行う。なお、第1回募集で事前エントリーし、抽選の結果落選となった事業者には、別途、申請方法を案内する。

事前エントリー通過企業には、別途支給申請用URLが通知され、申請期間内に「Jグランツ」から支給申請をする。詳細は、「カスターハラスメント防止対策推進事業企業向け奨励金」の特設サイトを参照。

上限5万円

東京都トラック協会は9月16日、全日本トラック協会の取次普及を図るため、費用の一部を助成するもの。助成事業の実施要領は、次の通り。

「申請受付期限」9年1月29日(予算額に達し次第、受付終了)

「助成額」1台につき上限5万円とし、取得価格(税抜き)の2分の1まで

第2回申請受付
10/23から

全ト協取次

【対象機器】

50音順

詳細は東ト協ホームページ(HIP)を参照

【助成対象】

東ト協会員の中小企業者(資本金または出資総額が3億円以下、または常時使用する従業員の数が300人以下)

申請書類や申請方法など詳細については、東ト協HIP参照(書類様式のダウンロードが可能)

▽問い合わせ先 東ト協業務部交通・環境G(03・3359・6257)

対象機器を追加

対象機器を追加

矢崎の
デジタコ・ドラレコ

今お使いのバックアイカメラの
映像を録画できます!

詳しくは、今すぐお電話を!

矢崎エナジーシステム 特約販売店
世田谷サービス株式会社

本社 03-5727-1600 (担当:青木)
高島平 03-6906-5960 (担当:磯田)
ホームページ <http://www.setagaya-yss.co.jp>
E-mail: postmaster@setagaya-yss.co.jp

支部ブロック化はじめ 組織のあり方を検討

東京都トラック協会総務委員会(委員長・森本勝也副委員長)は9月14日、東ト総会館で令和8年度第2回委員会(Web併用)を開催し、8・9年度委員の委嘱や副委員長(練馬支部)の各氏が就任した。

冒頭、森本委員長が、事項の整理・確認、今後の検討事項、新たに所掌する葛西物流拠点について説明した。

8・9年度執行部の発足後、新任・再任委員による初の委員会となり、



森本委員長



鈴木委員長代理

共有意識を醸成したい」と述べた。また、支部の代表である各委員に率直な意見を求め、「会員から分りやすく信頼される組織を目指していきたい」と語った。

続いて、鈴木委員長代理が「6・7年度も委員



東ト協 総務委員会

長代理を務めたが、引き続き森本委員長をフォロワーとしていきたい」とあいさつした。

議事では、これまでの検討事項の進捗状況を報告。常任理事(公)の廃止、理事定数の削減、評議員制度の見直し、総会資料の電子提供制度の導入、支部長の選定などの権限の移行、会長候補者の選出手続きの見直し、会員基盤強化対策の検討が完了していることを確認した。

支部ブロック制の導入は、5年度から第1期では、葛西物流拠点について、今後の検討事項として、事業計画・収支予算の審議や事業報告・収支決算の審議、支部ブロック制の導入(ブロックのあり方やその他の支部の取り扱い)、葛西物流拠点(カードロッカー・駐車場)について検討していくこととした。

葛西物流拠点を所掌事項に

秋の全国交通安全運動

東ト協運輸安全委員会(委員長・鳥ノ海学副委員長)は9月8日、東ト総会館で令和8年度第2回委員会(Web併用)を開催し、秋の全国交通安全運動(9月21～30日)に向けた取り組みや活動内容などを確認した。

冒頭、鳥ノ海委員長は「委員会の命題である都内の死亡事故発生状況は、これまで13件発生し、前年を上回るハイペースで推移している。会員関与の第一当事者死亡事故



東ト協 運輸安全委員会

取り組み内容や、重大事故発生状況などについて説明した。

議事では、同運動期間中の9月24日を「統一実施日」とし、各支部で街

頭指導活動を実施するほか、屋外マルチビジョンによる啓発を行う方針を示した。

オンラインによる初任運転者特別講習については、これまで連続した日程での受講を原則としていたが、講義内容の標準化・平準化を進めることで、教育効果を維持しながら受講日の分散を可能とした。これに伴い、10月13日受講分から日程の選択方法を変更する(別掲参照)。

また、冬用タイヤ交換時の注意点について注意喚起を図り、トルクレンチ導入助成事業の活用などを紹介。さらに、7年度セーフティドライブ・パイロットブロックの活動を開始。6年度から千代田・中央・港ブロック、多摩ブロック、7年度から渋谷・世田谷・目黒ブロック、台東・墨田・荒川ブロック、深川・城東ブロック、8年度から品川・大田ブロック、文京・豊島・北・板橋・練馬ブロックが活動している。

今後の検討事項として、事業計画・収支予算の審議や事業報告・収支決算の審議、支部ブロック制の導入(ブロックのあり方やその他の支部の取り扱い)、葛西物流拠点(カードロッカー・駐車場)について検討していくこととした。

に関する事項を、特別委員会のカードロッカー・駐車場委員会で協議・決定していたが、7月開催の正副会長会で、今年度からは総務委員会の所掌事項とし、同特別委員会を発展的に解消することが出された。

東ト協 物流経営士課程

東ト協は、第27期物流経営士課程の受講生を募集している。申し込み期限は10月19日。今期の開講式は11月4日に行われる予定。募集要領は次の通り。

【受講資格】東ト協、お

【研修期間】約9か月

【募集定員】30人

【研修期間】約9か月

【申込期限】10月19日

東ト協は、令和8年度「オンライン」による初任運転者特別講習について、10月13日受講分から日程の選択方法を一変更し、受講機会を確保と利便性の向上を図る。

これまで、3日間コースは月・火・水9時～午後6時と3日間コース(午前9時30分～午後4時)を設定。いずれも祝日を除いて実施し、昼休憩60分のほか、30分の休憩を含む。3日間コースでは、希望者に対し「テールゲートリフト」特別教育(午後4時10分～5時30分)も実施する。

初任運転者特別講習

オンラインによる

東ト協は、令和8年度「オンライン」による初任運転者特別講習について、10月13日受講分から日程の選択方法を一変更し、受講機会を確保と利便性の向上を図る。

これまで、3日間コースは月・火・水9時～午後6時と3日間コース(午前9時30分～午後4時)を設定。いずれも祝日を除いて実施し、昼休憩60分のほか、30分の休憩を含む。3日間コースでは、希望者に対し「テールゲートリフト」特別教育(午後4時10分～5時30分)も実施する。

受講しやすくなりました

申し込み

協会日誌

【9月1～15日】

- 1日 九都県市合同防災訓練(さいたま市)
- 2日 トラックフェスタ TOKYO2026役員説明会▽同支部説明会▽同実行プロジェクトワーキンググループ会議
- 3日 都議会への要望活動▽飲酒運転根絶セミナー
- 4日 引越専門部会研修会
- 8日 女性部正副本部長会
- 12日 トラックフェスタ TOKYO2026(代々木公園)
- 14日 総務委員会
- 15日 経営教育委員会▽正副会長会
- (同)▽18時 同懇親会(KOKOホテル新宿四谷)
- 15日(木) 全国トラック運送事業者大会(ふくやま芸術文化ホールほか)▽東京都・三宅村・御蔵島村合同総合防災訓練(三宅村ほか)▽九都県市合同防災訓練(神奈川県)

日程ボード

【10月1～15日】

- 2日(金) 10時 引越専門部会引越基本講習(東ト総会館)
- 6日(火) 15時 ロジ研正副本部長会議(東ト総会館)▽16時 同本部連絡会意見交換会

新会員

【江戸川支部】

◆Panda Line株式会社 千葉県船橋市西浦2の14の11F

▽050・5491・3269▽一般貨物運送(普通車9台、被けん引車20台、けん引車7台)

【多摩支部】

◆有限会社イナギ生コン 調布市小島町1の20

の6▽042・483・4425▽一般貨物運送(普通車6台)

軽油の価格

☆スタンド	平均 = 138.9円
☆ローリー	平均 = 133.2円
☆元売り発行カード	平均 = 143.9円
☆ディーラー発行カード	平均 = 141.0円

燃料給油は東京都内で軽油引取税は地方税です

購入価格は、購入に関する諸要因(数量・支払条件・地域ほか)により多少の幅があります(消費税込み)。

10月当分の軽油価格(東ト協調べ)

8月分

関東交通共済協同組合

秋を探して楽しもう

8月末から迷走台風や線状降水帯など、全国各地に災害をもたらしたニュースが連日報道された。東京でも長雨が続き、秋の長雨、すき梅雨などと風流を気取ってもいられない。9月上旬の都内の日照時間が過去最少を記録したと聞くと、秋晴れが恋しくなる。秋の気配から本格的な秋へ。高い空や雲、芸術・文化の香りなど、季節を楽しめる場所として都心の皇居東御苑は見逃せない。

皇居東御苑は、旧江戸城の本丸・二の丸・三の丸という江戸城中心部の跡地の一部、約21万を庭園として宮内庁が整備し、1968(昭和43)年に一般公開された。園内は芝生や庭園が整備され、人々が散策を楽しむ場所であると同時に、皇室の重要行事の舞台にもなる。2019(令和元)年11月の大嘗祭



諏訪の茶屋

では、北側一帯に大嘗宮が造られ、皇室の最も重要な儀式が執り行われた。園内では、さまざまな植物や草花が四季を彩る。秋の代表格といえば、ヒガンバナ(曼珠沙華)だろう。各地に名所や群生地があり、スタンプリーが開催されるほど人気が高い。東御苑でも各所で見る事ができ、同心番所、諏訪の茶屋付近ではシロバナマンジュシャゲが咲くという。ヒガンバナにはいろいろな異称があり、仏教ではおめでたい兆しとして、天から降ってくる花とされる。

二の丸休憩所周辺では「秋の七草」が見られる。ただし、それぞれ開花時期が異なるため、すべてが同時に咲くわけではない。園内ガイドブックによると、10月ごろにはジュウガツザクラが三の丸尚蔵館や本丸休憩所西側の芝生に咲き、紅葉の時期を迎える11月ごろには二の丸雑木林が見頃となるという。



三の丸雑木林の紅葉の松

江戸城は度重なる火災に見舞われ、天守閣は再建されなかった。本丸なども被災し、1863(文久3)年には本丸御殿などが焼失。櫓もわずかしかなかった。西の丸に仮御殿が造られ、江戸城開城・明治維新を迎えると、明治天皇は仮御殿に入城した。



江戸城本丸などがあった東御苑には、史跡も多い。かつて映画・テレビや演劇などで年末の定番となった忠臣蔵の事件発端の舞台「松の大廊下」跡をはじめ、百人番所、天守台、家康時代の石垣など、見どころは尽きない。秋の散策を楽しむながら、江戸城の歴史の一端に触れることができ、歴史好きには興味の尽きない場所だ。

東御苑散策で忘れてはならないのが「皇居三の丸尚蔵館」だ。新施設の建設工事が続けられていたが、今年11月3日のグランドオープン記念し、「皇室の至宝―美しいところ」と銘付した特別展の第一弾が、来年1月まで開かれる。特別展は第三弾までに分かれ、全展示作品が

三の丸尚蔵館、秋の見どころ

入れ替わる。同館は皇室の美術工芸品などが国に寄贈されたのを機に、1993(平成5)年秋に一般公開され、館名は古来、皇室に関わる重要な器物を管理する役職に由来する。開館当初はいつでも入館でき、「御物」を間近で見ることができたが、国宝級の所蔵品も多く人気が高まり、施設の拡張とともに事前予約制となった。所蔵品には、国内外で人気の伊藤若冲の『動植綵絵』、狩野永徳の『唐獅子図屏風』をはじめ、教科書にも掲載されている『蒙古襲来絵詞』や『春日権現験記絵』、藤原定家の書など、国宝・重要文化財級の作品も多く、展示内容には事前確認が必要となるため、入館方法とあわせて、事前にホームページで確認しておきたい。この秋の人気スポットになりそうだ。

「月待ちの宵」と題したプラネタリウムでは、初代歌川広重の浮世絵にも描かれた「二十六夜待ち」に触れています。浮世絵からも、東の空から昇る月を待つ人々にぎわっている様子が分かります。当時は、月の光の中に阿弥陀如来が観音菩薩、勢至菩薩を伴って現れ、その姿を拝むと願いが叶うと信じられていました。



皇居三の丸尚蔵館



江戸の月見に思い馳せ 高輪の新名所で展覧会

今回は、3月に全面開業した高輪ゲートウェイインシティにある、複合型ミュージアム「MONTAKANA(モンタカナワ)」で開催中の「MONTH(ムーン・マンス)―月を待つ月―」に行ってきました。

解説が終わる、会場は暗転。「月」の出るまで少しだけ時間があります。どうぞ江戸の星空の海を歩いてみてください。訪れた日はあいにくの小雨で、月は見えませんでした。高輪ゲートウェイ駅前の広場には、三日月をモチーフにしたオブジェが展示されていました(写真)。



現代でも、レインボーブリッジ辺りで風に吹かれながら、月を見て過ごす夜は素敵です。「次は、夜にぶらぶら散歩するのでもいいかな」と思っています。

ポケット

秋は、月を楽しむ時期でもあります。本紙の発行日となる9月25日は、今年の中秋の名月にあたります。今回の展示では、江戸時代の人々がどのような月を楽しんでいたのか、想像しながら味わいました。

三丁目

新宿区の靖国通りを運行する路線バスに乗り中、思わぬ「ヒヤリハット」体験をした。バスの前に、いきなり自転車飛び出してきたのだ。路上駐車の手を止めた。バスを避けようとした。死の角から急な飛び出しに思わず身を固くした。運転者も驚いたはずだが、慌てた様子もなく、ブレーキを少し強めに踏んでやり過ごした。日常的にあることのように、その後も、車線をはみ出して走行する自転車や電動キックボードを何度か見かけた。誠に危ない。死の角部分がかしい。死の角部分が大きいトラックやバスには要注意な存在。運転者にかかるストレスは相当なものに違いない。

最近、交通量の多い道路でも車道を走る自転車などが増えた感がある。いわゆる「青切符」導入で取り締まりが厳しくなったことも影響しているようだが、かえって事故リスクが高まっているように思われる。秋の全国交通安全運動でも、自転車などの交通ルール遵守徹底が重点の一つだが、その運転マナーは芳しくないのが実情だ。プロの運転者としては、これまで以上に防衛運転を心がける必要があると思う。

写真でみる

トラックフェスタ TOKYO

「トラックフェスタ TOKYO 2026」が9月12日(土)、渋谷区の代々木公園(野外ステージ・イベント広場)で開催され、あいにくの空模様をふきとばし、多くの家族連れなどで賑わいました。会場には、さまざまなトラックを展示したほか、職業体験コーナーなどを設け、支部や関係団体ブースを出展。緑ナバーラトラックとのふれあいの場を提供しました。



あいにくの空模様を
ふきとばす



本部・支部・業界の力



多彩なステージイベント



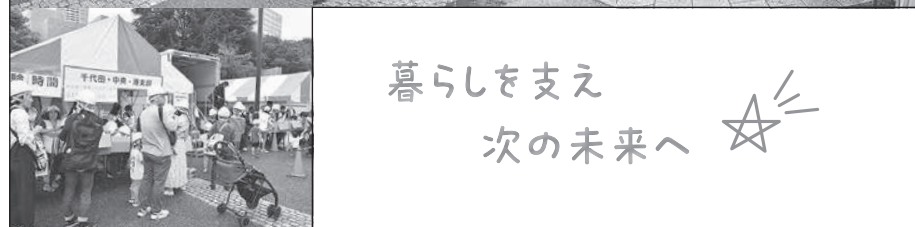
トラックとふれあう



安全と環境に取り組む



暮らしを支え
次の未来へ



〈後援〉東京都／環境省／関東運輸局／関東運輸局東京運輸支局／警視庁交通部／渋谷区／東京商工会議所

〈協力〉東京労働局／自衛隊東京地方協力本部／警視庁代々木警察署／東京消防庁渋谷消防署／日本自動車連盟東京支部

〈協賛〉いすゞ自動車首都圏／南関東日野自動車／三菱ふそうトラック・バス南関東ふそう／UDトラックス／関東陸運振興センター
安全自動車／交通事故総合分析センター／事業用自動車事故調査委員会／交通情報サービス

HOTaTECH／自動車事故対策機構東京主管支所／日本自動車連盟(JAF)東京支部／アスア／運行管理推進ネットワーク／カーゴ・ジャパン／関東交通共済協同組合／三多摩自動車協会
首都高速道路サービス／新日本流通新聞社／中央矢崎サービス／東京海上日動火災保険／東京自動車販売協会／東京都トラック運送事業協同組合連合会／日本トレクス／物流ニッポン新聞社
ブリヂストンタイヤサービス東日本／自動車安全運転センター東京都事務所／東京都自動車会議所／物流産業新聞社／東ト協会員事業者(多数) ※順不同